



# NPO救命おかやま 会報



Vol. 33

2019. 10. 1 発行



## 1. ご挨拶

岡山県歯科医師会長 酒井昭則（NPO救命おかやま役職顧問）

NPO 救命おかやまの皆様には、平素より岡山県歯科医師会にご高配をいただき、心より感謝申し上げます。

10年以上にわたり、氏家理事長をはじめメンバーの皆様の御指導のもとICLSコースでトレーニングを受けた本会会員は60名以上になり、県歯会員やスタッフのBLS・AEDを用いた実習セミナーのインストラクターとして協力・活動しています。

歯科クリニックでは、心肺停止に至る重篤な緊急事態が起こる可能性は少ないのですが、超高齢社会の現在、基礎疾患を抱えた患者さんの診療や寝たきりの方の訪問診療では、不快症状が生じるリスクはますます高まってくるものと思われまます。全身管理や緊急時の対応力のある歯科医師の養成は必須です。

また、昨年、西日本豪雨災害では岡山県は大変な被災を受けました。岡山県医師会 JMAT 活動に帯同したり、もちろん、岡山県歯科医師会として被災地に入ったり、物的的な支援を行わせていただいたのは言うまでもありません。

しかし、地球温暖化の所為か、自然災害が頻発しており、「想定外」の集中豪雨、「今までに経験したことのない」暴風等はもはや「想定外」とは言えなくなっているのではないのでしょうか。いつ何時、我々が災害に見舞われるか予測はつきません。

日頃の地道な NPO 救命おかやまの活動が安心安全につながるとともに、医歯薬・看護・消防・行政等の職種を越えた連携が防災対策にも直結していると感じているところです。NPO 救命おかやまの更なる発展とご活躍をお祈り申し上げて挨拶と致します。



## 2. ご報告

### ◆特別寄稿：岡山県知事賞を受賞

理事長：氏家良人（函館市病院局長）

NPO 救命おかやまは、この 11 月 14 日の令和元年岡山県保健衛生功労者表彰において、地域医療事業功労の岡山県知事表彰を受けることとなりました。これは、岡山県医師会が推薦して下さった結果ですが、予想もしていなかった大変名誉な受賞となります。

NPO 救命おかやまの前身は、2001 年に始めた“岡山 ACLS 研究会”、“岡山外傷研究会”にあります。現在の ICLS、JPTEC を自分達が学び、それらを地域に普及していくことを始めたメンバーが、2006 年にそれぞれの組織を一つにして法人化しました。法人化にはそれぞれのコアメンバーが重複していたこともありますが、何よりも最も大きな理由は会計の明朗化にありました。

NPO 救命おかやまは法人化後、地域の医療者や一般市民に対して、ICLS 以外に ACLS、BLS、AED 講習などの心肺蘇生講習を広めました。ICLS に関しては指導者ワークショップも始めました。また、会員の希望を取り入れ、ISLS、INARS、MCLS 等も始め、それぞれ責任者の下でコースを開催してきました。岡山県と連携した AED の普及啓発事業も行って参りました。また、岡山マラソンにおいては AED 班として、この間ランナーを死なせないという目標を達成してきています。

NPO 救命おかやまの素晴らしいところは、病院や組織を問わず、専門性を問わず、来る者は拒みません、やりたいことや出来ることはやってください、それをお互いがサポートします、でも、無理しないでください、楽しんでください、というスタンスだろうと思います。今後も、楽しく、そして、医療者だけでなく多くの人たちが喜んで貰えるような活動が出来ればと思います。

今回の岡山県知事賞の受賞決定は、われわれを勇気づけてくれました。推薦して頂いた岡山県医師会に心より感謝致します。

### ◆第 14 回総会・2019 講演会・報告会&懇親会のご報告

（2019 年 7 月 20 日 於：岡山プラザホテル）

#### ■第 14 回定時総会

理事長：氏家良人（函館市病院局長）

“NPO 救命おかやま”は 2019 年 6 月より 14 年目を迎えました。2019 年 7 月 20 日(土)に岡山プラザホテル「鶴鳴の間」において第 14 回定時総会を開催致しました。理事長である私が議長に任命され総会議事を進めました。

議題は報告事項として、1)H30 年度会員動向、2)H30 年度事業報告について説明がなされ、審議事項として 1)30 年度収支決算、2) 2019 年度事業計画、3)2019 年度収支予算案、4) 定款の変更などがあげられ、それぞれ協議がなされ



ました。会計はこれまで極めて健全会計であり、監事からも健全会計であることが述べられ、問題なく承認されました。

## ■ 2019 講演会・報告会・懇親会

監事：角南和治（岡山協立病院）

◇講演：『スポーツイベントにおけるファーストレスポnderの重要性と講習体制整備について』

田中秀治（国土館大学 体育学部 スポーツ医科学科 教授）

◇報告：『おokayamaマラソン AED 班の活動報告』

津島義正（NPO 副理事長：心臓病センター榊原病院）

報告会では、津島義正先生に、これまでの4回のおokayamaマラソン AED 班の活動を振り返り、体制構築の現状や課題、さらには4名の心肺蘇生症例（全員救命）と1名の急性心筋梗塞症例の詳細についても報告していただき、メディカルチェックがいかに難しいかを認識するとともに、その分 AED 班が果たす役割が大きいことも再認識しました。

特別講演では、「スポーツイベントにおけるファーストレスポnderの重要性と講習体制整備について」というタイトルで、東京マラソンをはじめとするイベントで ICT と機動力を生かした様々な取り組みをされていること（MySOS での位置情報活用やヘルメットビデオカメラでの情報共有や記録など）、さらに後半では 2020 東京オリンピックのサポート体制についてお話をしてくださり、サポート要員の講習会も田中先生が担当されており、より多くのボランティアが必要であるため、皆様是非してほしい、との呼びかけもありました。

最後に当 NPO の取り組みについて、会員が皆で支えあいながら活動を展開し、とても素晴らしいです、と高く評価してくださいました。



### 【総会】



### 【報告会】



### 【講演会】



## 【懇親会・表彰】



### ■ 平成 30 年度会員表彰（2019 懇親会にて表彰）

理事：山本英一（平井耳・鼻・のどクリニック）

目から鱗のお話をさせていただいた特別講演の田中秀治先生は、懇親会の最後まで出席され、会員の悩みや疑問などにも丁寧に答えて下さいました。恒例のクイズやジャンケンゲームにも参加し、気さくな一面もを見せていただいたこと、感謝致します。

令和最初の会員表彰は、美作地区での救命講習に尽力された薄元医院の薄元亮二先生に理事長賞を贈らせていただきました。また最優秀貢献賞は倉敷芸術科学大学の石井佳江先生に、昨年から始まった皆勤賞には、過去の岡山マラソンすべてに自転車 AED 班として参加された 6 名を選びました。ちなみにこの 6 名の走行距離は、合計 1012.68 km で、岡山から仙台までの距離になります。

クイズは小倉百人一首、「契きな かたみに袖を しぼりつつ 末の松山 浪越さじとは」から、末の松山は何県にある？この浪は何？などと出題し、早い者勝ちで NPO 特製スポーツタオルを獲得してもらいました。約 1100 年前の貞観地震の際、宮城県の大賀城市にある「末の松山」（海岸から約 4 km）の直前まで大津波が襲ったことから、「末の松山」は歌枕として数多くの和歌に登場します。1000 年に一度と言われる 2011 年の東日本大震災でも、津波は到達しなかったようです。この和歌も大津波伝承の一つなのでしょう。先人は、色んな形で、現在の私たちに危険を察知する知恵を残してくれています。岡山にも自然災害に対する同様のものがあるはずですので、忘れず、大切に、防災に活かしたいと思います。

### 3. 平成 30 年度 会員表彰

7 月 20 日懇親会にて、平成 30 年度の会員表彰を行いました。ICLS/ISLS/JPTCC/MCLS コース・救命講習会他のインストラクターとしてご活躍くださいましたすべての会員の方を対象とし、推薦により候補をあげていただき、その中から選ばせていただきました。受賞者の皆様のご案内と最優秀のご挨拶をご紹介します。（下記敬称略）

#### 【理事長賞】

##### 薄元 亮二（薄元医院）

「NPO 救命おかやま」の皆さん、今日は、薄元医院、薄元亮二です。この度は、栄えある理事長賞をいただき心より感謝しております。私で本当に良いのかの思いも抱いておりましたが、この度の受賞は、私個人には無く「作州に AED を広める会」の活動に対する栄誉と理解しありがたく頂戴することに致しました。

私たち「作州に AED を広める会」は、平成 17 年から岡山県北で「NPO 救命おかやま」による ICLS 講習会の開催に協力すると共に一般市民を対象にした BLS 講習会を開いてきました。その結果、会員の多大な協力により BLS 講習会における受講修了証の最終ナンバーは 8 月 6 日の第 87 回津山市立鶴山中学校講習会で No.04394 に至ることが出来ました。（但し 1 割ほどの欠席者は存在します）ボランティアとして協力していただいた多くの方々に心よりお礼を申し上げます。私たちは、これからも一般市民を対象とした BLS 講習会、なかでも小、中、高校生を中心とした若年者を対象とした講習会に力を入れたいと思っています。その理由として私は、以下のようなことを考えています。

- ・子供たちに命の尊さを学ぶ機会を提供できる。
- ・若年受講者が、長い一生の間に心肺停止者と遭遇する機会は年長者よりも多い。
- ・若年受講者はその気になれば手技の習熟が早く、翌年以降も高率に記憶している。
- ・若年受講者は、進学先や運転免許取得時において再び受講する機会があり、繰り返して学ぶことの効果が期待される。
- ・学校管理下での心原性心停止は目撃例が多く、居合わせた人々による一次救命処置が有効である。

しかし、子供たちが心肺蘇生法を学ぶ機会は、多くはない上に時間や質も十分に担保されているとは言えません。津山市で行った調査によると小中学生を対象とした講習会において受講者（生徒）が人形に触ることの出来た時間（講習時間×人形/受講者数）は平均で 5 分余りでした。解説や手技の展示の時間を差し引けば実際に触ることの出来た時間ももっと短いものと思われます。幸い中学生のカリキュラムに心肺蘇生法が加えられ第 8 次岡山県保健医療計画でも学校保健の中で心肺蘇生法教育が取り上げられています。

私たちは、より多くの子供たちが質の高い心肺蘇生教育を受けられるようこれからも努めたいと思っています。しかし、以下のような課題もあります。

- ・子供たちに対する心肺蘇生法教育の必要性和有効性が教職員、教育委員会に浸透していない。
- ・子供たちの学習能力を教職員、教育委員会は過小評価している。
- ・小中学生を対象とした講習会のプログラムが確立していない。
- ・学校の規模の大小により資機材やインストラクターバランスが取りにくく学校規模に応じた講習会のデザインや工夫が必要である。
- ・教職員は忙しく自らが中心となって講習会を行う機運が生まれない。

このような課題について私たちの会では総会と同じく行うインストラクター ブラッシュアップ セミナーでも取り上げて検討してきましたが、名案はなかなか出ません。「NPO 救命おかやま」の皆さんにもお知恵を借りたいと思っていますので宜しくお願い致します。

最後に私用のため受賞の場に出席できなかったことをお詫びすると共に改めてこの度の受賞に感謝とお礼を申し上げます。

#### 【最優秀貢献賞】

##### 石井佳江（加計学園 医用科学教育センター）

この度は、最優秀貢献賞という名誉ある賞をいただきまして、誠にありがとうございます。この表彰を受けられたのは、日々の NPO 救命おかやまの皆様のお力添え、励ましのお言葉があったからだと実感しております。この場をお借りして、皆様に厚くお礼申し上げます。

私自身、このNPOの活動を通して、命の大切さを見直す機会が多くなりました（おかげでこの年齢になって“無謀な生活や習慣などは辞めよう”とけじめがつつあります）。またインストラクションのスキルアップを目指すことへの向上心も、さらに強くなる今日この頃です。そして皆様とたくさん交流させていただくことで、普段とは違う楽しみも増えてきました。

まだまだ未熟もので、皆様にご迷惑ばかりかけております。しかし、これからも皆様と一緒させていただきたいと思っております。（どこかで、この丸顔を見かけましたら・・・）引き続きご指導よろしくお願ひいたします。

【貢献賞】・・・山縣麻理子（倉敷中央病院）市川元啓（医師：倉敷中央病院）角場幸記（診療放射線技師）

合田宗弘（岡山ひだまりの里病院）、末永武史（岡山協立病院）

【新人賞】・・・杉田径礼（津山消防署）

【グッドサポート賞】小畑秀明（岡山理科大学）

【皆勤賞】・・・秋田 博（笠岡地区消防組合）、石井賢造（福山市民病院）長谷川貴洋（倉敷中央病院）

石井佳江（加計学園医用科学教育センター）丸山雅道（岡山大学病院）山元一生（グッドスペース）



## 4. 事務局からのご案内

### ■2019NPO 救命おかやま 第14回市民のための救命講習会のお知らせ



【日時】：2019年11月9日（土）14:00~15:30

【場所】：ジップアリーナ岡山『サブアリーナ』

（岡山駅西口より徒歩約20分）

【受講募集】：150名（先着順）

※小学生以下の方は、保護者の方と一緒にお申込ください。



監事・救命講習会CC：角南和治（岡山協立病院）

今回もおかやまマラソン2019の協働事業として開催いたします。昨年のおかやまマラソンでは1名の心肺停止症例がありましたが、ドクターランナーも含む多くの方々の協力で救命されました。今回の講習会でも一人でも多くの方に参加していただき、救命の輪が広がることを期待しています。皆さんの周りの方々にもぜひお声かけいただきますよう、よろしくお願ひします。

### ■おかやまマラソン医事救護（AED班）スタッフにNPO会員として参加します

NPO救命おかやまとして、今年もおかやまマラソン2019のAED班をお引き受けいたしております。

本部（統括・副統括・事務局）4名、待機AED班78名、自転車AED班26名、フィニッシュAED班28名の合計136名がボランティアとして参加致す予定です。参加される方は、10/19（土）の事前説明会に極力ご出席いただきますようよろしくお願ひします。※岡山マラソン維持救護スタッフのための事前説明会会場：岡山生涯センター（北区いしま町3-1-1）

### ♥会費請求のご案内

Vol30で会費請求のご案内を同封いたしております。会費のお振込みがまだの方は、会員会費のお振込用紙をご利用の上、会費納入をよろしくお願ひ致します。※お振込み先の振替口座は、銀行からの振込も可能です。

銀行振込を希望の方は、会員番号とお名前を記入の上お振込みをお願い致します。

【会員用郵便振替口座】口座番号：01310-8-95943

口座名義人：NPO救命おかやま（エス・オー・キューメイカヤマ）

【会員用銀行振込】※会費用銀行口座

ゆうちょ銀行 一三九（イサキキ）店 当座 口座番号0095943

口座名義人 特定非営利活動法人NPO救命おかやま（トクエイエイカヤマ）（エス・オー・キューメイカヤマ）

☆寄付の口座は寄付専用となっておりますのでお間違え内容お願ひいたします。

### ♥住所・勤務先の変更について

住所・勤務先、メールアドレス等の変更はお早めに随時事務局までメール・FAXにてご連絡ください。

※お振込み用紙記載の勤務先や連絡先住所・TEL等に変更がある場合は、変更記入の上、入金手続きをお願いいたします。

### ◆入会のご案内

NPO救命おかやまでは現在会員を募集いたしております。NPOの活動にご興味のある方のご紹介をお願いいたします。お申し込みは、HPの入会の項目よりお申し込みフォームにてお申し込みください。

尚、HPにて申込入力後、またはコース開催時の入会申込用紙提出後、入金はまだの方は会員の手続きは未登録の状態ですので、早めの入金をお願ひいたします。

### ◆寄付金募集のご案内

NPO救命おかやまでは現在寄付を広く募集いたしております。NPO救命おかやまの活動をさらなる充実のため、心肺蘇生の輪を広げるこの活動にご賛同いただき寄付金のお申込みいただけます場合は、同封の赤色の振込用紙（寄付用）よりお申し込みをお願いいたします。

また、NPO救命おかやまの活動にご賛同いただける方が周りにいらっしゃいましたら何卒ご紹介の程よろしくお願ひいたします。

尚、NPO救命おかやまは特定非営利活動法人ですので、寄附に伴う税制上の優遇措置はありません。

【寄付用郵便振替口座】口座番号：01300-9-104786

口座名義人：NPO救命おかやま（エス・オー・キューメイカヤマ）

【寄付用銀行振込口座】ゆうちょ銀行一三九（イサキキ）店当座口座番号0104786

口座名義人：特定非営利活動法人NPO救命おかやま（トクエイエイカヤマ）（エス・オー・キューメイカヤマ）

### ◆ときわグループ様からの寄付報告

今年度（H30）も、ときわグループ様より20万円の寄付をいただきました。

この寄付のために、毎年ときわグループ様のパーティーの際、受付にNPO救命おかやま用の募金箱を設置していただいております。また、別途永山積善会さまからも昨年には15万円の寄付をいただきました。NPO会員一同心より感謝申し上げます。この寄付金は、資器材購入などNPOの活動に有効に使わせていただこうと思っております。



【発行元】 特定非営利活動法人 NPO救命おかやま 事務局

〒700-0914 岡山市北区鹿田町1-7-10  
電話&FAX：086-226-3999

E-mail：kyumeiok@md.okayama-u.ac.jp  
HPアドレス：<http://npo-okumin.jp>

